

令和7年度 後期 学校評価アンケートに関する考察

さくら連絡網での学校評価アンケートに御協力いただきありがとうございました。

以下はそれぞれの質問項目に対する考察です。

1 子どもは、気持ちの良いあいさつや返事ができている。

保護者の肯定的な回答が前期に比べて4. 2ポイント増加しました。学校では、あいさつ名人を表彰して写真を掲示するなど、児童が笑顔で挨拶が交わせるよう、あいさつ運動に取り組んでいます。引き続き児童が元気に挨拶を交わすことが習慣化されるよう取り組んでいきます。

2 子どもは、時間を守って行動している。

保護者の肯定的な回答が前期に比べて5ポイント増加しました。どのクラスもチャイムが鳴る2分前には着席してスムーズに授業が始められるように努めています。業間の休みにグラウンドで遊んでいる児童も、チャイムの予鈴が鳴ったらすぐ教室に戻っています。

3 子どもは、学校や社会の決まりやマナーを守って生活している。

保護者・児童ともに肯定的な回答が前期に比べて増加しました。特に校外学習などでは、一般の方と関わる機会が多いので、挨拶や公共の場でのマナーなど意識して行動できるよう指導していきます。

4 子どもは、困ったことがあったとき、誰かに相談している。

児童の肯定的な回答が前期に比べて7. 2ポイント増加しました。引き続き、学校では毎月、大平っ子アンケートを実施し、困ったことや悩みがあったときはいつでも相談できるようにしていきます。また、各学期に1回、担任が全児童と面談して、悩んでいることや困っていることがないか確認していきます。

5 子どもは、友達と仲よく、思いやりをもって生活している。

保護者の肯定的な回答が前期に比べて5ポイント増加しました。児童、教員、保護者ともに肯定的な回答の割合が9割以上と高く、「友達と仲良くしている」という意識が高いと言えます。さらに児童の悩みを解消できるよう、道徳の授業や人権教育などを通して心の育成を図っていきます。

6 子どもは、体力向上に向けて努力し、たくましく成長している。

保護者・児童ともに肯定的な回答が前期に比べて増加しました。これからも体育の授業を中心に、体力向上を目指した活動を行っていきます。また、毎週火曜日は、昼休みに「わくわくタイム」を設定し、できるだけ外で元気に遊ぶよう勧めています。

7 子どもは、意欲的に学習に取り組んでいる。

保護者・児童ともに肯定的な回答が前期に比べて増加しました。学校では、児童が主体的に取り組めるような課題を提示したり、電子黒板、ノート型学習端末などのICT機器を活用した授業を積極的に取り入れたりしています。引き続き御家庭でも褒めたり、励ましたりしながら、お子様の頑張りを認めていただければと思います。

8 子どもは、学習したことを身につけている。

児童の肯定的な回答が前期に比べて5. 4ポイント増加しました。保護者から肯定的な回答が9割以上と高く、学習が身についていることを実感していると言えます。引き続き、教員も授業や課題を工夫し、学力の向上を目指します。

9 子どもは、宿題等家庭学習の習慣が身についている。

保護者の肯定的な回答が前期に比べて8. 2ポイント増加しました。家庭学習については、学校で家庭学習の進め方を担任が指導したり、家庭学習推進週間を設け、家庭学習に取り組む姿勢の強化を図ったりしています。児童の学力向上には学校での学習のみならず、家庭での学習が必要です。家庭学習については家庭と学校で協力して進め、児童の学力向上を図っていきたいと思います。

10 学校は、いじめのない学校づくりに努めている。

保護者の肯定的な回答が前期に比べて11. 2ポイント増加しました。引き続き、学校では、大平っ子アンケートや教育相談などを実施するとともに、児童の表情や言動にも気を配っていきたいと思います。また、毎月1回、生徒指導委員会やいじめ防止対策委員会を開き、情報交換や、対策を話し合っています。今後も児童の小さな変化に気付いて、悩みに寄り添える学校づくりに努めています。

11 学校は、子ども達の理解に努め、悩みやトラブル等について、適切に対応している。

保護者・児童ともに肯定的な回答が前期に比べて増加しました。引き続き、人権教育を基盤とした学級経営に努めるとともに、教育相談や面談の充実を図り、児童の話を傾聴する教員集団であるよう努めています。

12 学校は、子ども達の頑張ったことを適切に評価している。

保護者・児童ともに肯定的な回答が前期に比べて増加しました。児童には、どんな小さなことでも褒めて伸ばし、スマールステップで頑張った成果が実感できるような指導・支援を心がけています。引き続き、御家庭でも、お子様を褒めて伸ばしていってください。

13 学校は、子どもがわかりやすいように工夫して学習指導を行っている。

保護者・児童ともに肯定的な回答が前期に比べて増加しました。算数では、市の少人数指導担当が、チームティーチングで指導を行っています。さらに、大平スタンダードによるノートの書き方や板書の標準化やICT機器の活用など、できるだけ児童にわかりやすい学習指導を心掛けるようにしていきます。

14 学校は、子ども一人一人を大切にし、困り感に応じた学習支援や配慮を行っている。

保護者・児童ともに肯定的な回答が前期に比べて増加しました。本校は、全校児童117名と大規模な学校ではありませんが、特別支援学級を3学級開設しています。また、児童への細かい対応のために、支援員が3名おります。さらに、随時、特別支援教育アドバイザーを要請し、指導方法の工夫等について職員が指導・助言を受けています。専門家による発達検査も実施しております。

15 学校は、掲示物や栽培・清掃等できれいな環境づくりに取り組んでいる。

本校は校舎などの施設・設備が古く、草刈りなどの環境整備が大変ですが、保護者や児童の協力のおかげで、きれいな環境で学習を進めることができます。花壇の花も、昨年度より大幅に増やしました。引き続き、御支援・御協力をよろしくお願いします。

16 学校の教育活動に満足している。

9割以上の保護者・児童から肯定的な回答をいただいています。学校教育目標の「確かな学力を身につけ、心豊かでたくましい大平っ子の育成」を目指し、職員一同全力で教育活動に取り組んでいきます。

17 学校は、施設設備や通学路の安全に配慮し、子どもの事故防止に努めている。

安心・安全で楽しい学校を目指し、毎月1回の安全点検、及び毎年度の通学路点検など、児童の安全第一に努めています。また、学期に1回、地区児童会を開き、児童から通学路に危険箇所がないかを確認しています。

18 学校の教育活動の様子がホームページや学校だより、授業参観等を通してよくわかる。

9割以上の保護者の方から肯定的な回答をいただいています。さくら連絡網やホームページ、学校だよりなどを通じ、児童の様子を伝えています。ホームページは学校の様子がわかるよう毎週更新しており、おかげさまで450万アクセスを超えました。ぜひ御覧ください。

大平小学校ホームページアドレス <http://www2.sammu.ed.jp/ohira>

19 学校は、地域の施設や人材等を活用して、地域の教育力を生かした取り組みを進めている。

保護者・児童ともに肯定的な回答が前期に比べて減少しました。公共施設や企業、保護者の方や地域の方々の御協力のおかげで、様々な校外学習や講演などを実施しておりますが、来年度に向けて、さらに行事や教育課程の見直しを行っていきたいと思います。

20 学校は、PTA や地域の方々と協力して、教育活動を進めている。

PTAや地域の方々には、学校行事など様々な場面で、いつも大変お世話になっております。今後とも御支援・御協力をよろしくお願いします。

※ たくさんの皆様に学校評価アンケートに御協力をいただきましたことに、深く感謝申し上げます。お答えいただいたアンケートの結果を後期の学校運営に生かし、教職員一同より豊かな教育活動を目指して、取り組んでいきます。